

SEIKO

KINETIC

ランドマスター サウスポール

**5M47**

ルミブライトモデル用

取扱説明書

INSTRUCTION

# 目 次

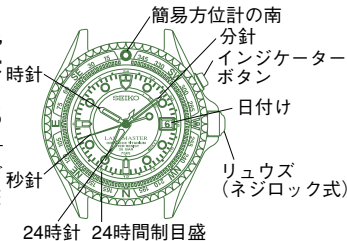
■製品の特長	2
■ご使用にあたって	3
■時刻の合わせかた	6
■日付けの合わせかた	10
■時差修正の使いかた	12
■都市と時差の比較表	14
■簡易方位計	15
■パーソナルデータ (PERSONAL DATA)	16
■国名英字略語一覧	18
■使用電源 (キネティックE.S.U.) についてのご注意	19
■使用上のご注意とお手入れの方法	19
■ルミブライトについて	23
■こんな時には	24
■製品仕様	26
■アフターサービスについて	27
■補修用性能部品について	27

## ■製品の特長

一般のクォーツ腕時計はボタン電池で動きますが、セイコーランドマスター（5M47）は”時計を振る”ことによって内蔵された発電機が回され、発電した電気をキネティックE.S.U.に蓄えて時計を動かすというSEIKO独自の機構をもつクォーツ時計です。従って、電池交換の必要はありません。あと何日動くかを針の動きでお知らせするインジケーター機能付きです。フル充電で約7日間以上動き続けます。

また、この時計には24時針と時針単独修正機能とがついていますので、デュアルタイム表示として、また海外旅行中などの時差修正とホームタイム表示としてもご使用できます。

※この時計の24時針は南半球における太陽の動きに合わせて逆転（左回転）する仕様になっています。よって、南半球において、24時針を太陽の方向に向けると外周部に配置した簡易方位計で方向を知ることができます。時計の裏側にはパーソナルデータの刻印ができます。



### ⚠ 注意

- あなたの腕の動きを電気に変換して蓄える方式です。静止したままでは充電されません。
- 目安として1日10時間以上の携帯をおすすめします。
- 充電量が残り少なくなると、秒針が1度に2目盛りずつ運針（以下の説明では〈2秒運針〉と表現します）してお知らせします。2秒運針になってから約6時間以内に止まる可能性がありますので、3ページ「●充電のしかた」をよくお読みになって充電をしてください。

## ■ご使用にあたって

●充電のしかた（止まっている時計を動かすには）

- ①時計を下図のように矢印の方向に振ってください。1秒間に2往復のリズムで、約100回（往復）振ってください。約6時間分の蓄えができたことになります。この時、秒針の動きは2秒運針から通常の1秒運針になります。

※1秒間に2往復程度の早さで、約20cm位の距離を往復させる様に振っていただくことが最も効率的です。

※極端に早く激しく振っても効率の良い充電はできません。

※発電機を回す回転錘の音が聞こえますが異常ではありません。

- ②さらに振り続けて2日分程度の充電をしてから携帯することをおすすめします。この時計はフル充電で「7日」以上の充電量を得られますが、初めにフル充電にさせていただく必要はありません。  
1日の充電量を確保するためには約200～250回（往復）が必要です。

※蓄えられた充電量はインジケーターで調べることができます。（→4ページ「インジケーターの使いかた」を参照）

※手振りによる充電の直後はインジケーターの示す充電量が若干多めに出る場合がありますので、10～15分後に再度ご確認ください。

※フル充電状態からさらに充電しても過充電防止回路が働きますので、安心してお使いいただけます。

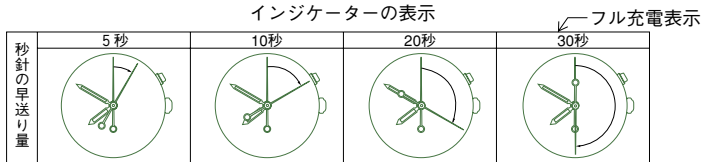


- 充電量を調べるには？（インジケータの使いかた）
  - ・ 発電し蓄えられた充電量を調べることができます。
  - ・ 今からどのくらい動き続けるか（持続時間）が分かります。
  - ・ ボタンを押すと運針中の秒針が早送りし、その早送りする秒数で持続時間を示します。
  - ・ 携帯中に充電状態を確認する時や腕から外しておく時など、後どのくらい動き続けるかを確認できます。

〈インジケータが表示する意味〉

インジケータはキネティックE.S.U.に蓄えられた充電量を調べ、4段階の表示で示します。段階的で幅をもった表示のため時計が動きつづける時間を細かくは表示できません。

インジケータの表示



充電量 約6時間 ～ 約2日間 ～ 約4日間 ～ 約7日間 ～ 約14日間※  
 （持続時間）

〈例〉インジケータの表示が「20秒」を示した場合は、約4日間～約7日間の持続時間があるという意味になります。約4日間以上の持続時間はあることにはなりますが、4日ちょうどなのか5、6、7日のどの程度かはわかりません。

※インジケーターで示す持続時間は目安としてお使いください。インジケーターの表示が実際の持続時間と異なる場合があります。

※早送り後、秒針はその位置にとどまり、その後は正確な時刻を示します。

※インジケーターは2回まで続けてご使用できます。つまり、秒針が充電量を示し、一時的に留まっている最中にもう一度ボタンを押すと、再び秒針が早送りします。よって「10秒」の表示をした場合は、1回目と2回目とで20秒の早送りすることになります。充電量はあくまでも「10秒表示」分の意味です。もう一度確認する場合は、秒針が通常運針になってからボタンを押してください。

※2秒運針時は、インジケーター機能はありません。

●フル充電表示（インジケーター30秒表示）について

- ・インジケーターの30秒表示はフル充電の意味になります。上記のように約7日間以上の充電量が確保できたということです。
- ・充電量として約7日間～約14日間と幅がありますが、その中のどのくらいかは分かりません。
- ・最大に充電できた場合は、約14日間（2週間）動き続けます。

●2秒運針になったら（秒針が一度に2目盛ずつ運針する状態）

- ・携帯中もしくは外して置いてある時計が2秒運針を始めますと、6時間以内に止まる可能性がありますので充電をしてください。（→3ページ「●充電のしかた」を参照）

※2秒運針の場合は、インジケーター機能はありません。

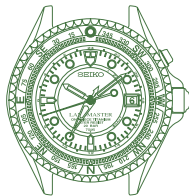
※2秒運針中でも時刻表示は正常です。

## ■時刻の合わせかた (24時針の使用用途に2つのタイプがあります)

充電して秒針が通常運針になってから「時刻合わせ」をします。(→3ページ「●充電のしかた」を参照) この時計の24時針の使いかたには、2つのタイプがあります。そのタイプによって時刻の合わせかたが異なりますので、どんな使いかたにするか選択してから時刻合わせをしてください。

〈タイプ1〉24時針を単なる24時針(午前・午後が読める)として使用する場合。

- ・ 普通の使いかたがこのタイプになります。
- ・ たとえば、24時針を日本時間に合わせておくと、海外旅行中に旅先の時刻を時針・分針で表示しても、24時針で日本時間を見ることができ便利です。  
この時の日本時間をホームタイムと呼ぶことがあり、以下の説明ではそう表現します。



〈タイプ1の例〉

〈タイプ2〉24時針に他の地域の時刻を表示させて使用する場合。

- ・ 住む場所とは異なる時刻(時差のある時刻)に合わせておき、24時針と時分針とでデュアルタイム表示として使用する場合にこのタイプを選びます。
- ・ たとえば、24時針を世界標準時(GMT)に合わせて、時分針を日本時間に合わせると、いつでも24時針でGMTを確認できることになります。

【24時針を普通の24時針として合わせる方法】〈タイプ1を選択した場合〉

- ①リュウズを左に回してネジロックをゆるめます。

※時計が動いていないと時刻合わせができません。充電をしてから時刻合わせをしてください。(→3ページ「●充電のしかた」を参照)

- ②リュウズを2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。

- ③リュウズを右に回し、24時針と分針に注目し現在時刻に合わせます。現在時刻の午前午後  
に注意して合わせます。

〈例〉午前10時0分に合わせる場合は・・

24時針を10時位置（7時方向）に分針を0分に合わせます。

午後6時0分に合わせる場合は・・

24時針を18時位置（3時方向）に分針を0分に合わせます。

※時計が合わせる時刻と異なる時間を示している場合がありますが、24時針と分針とで合わせてください。(時針は後から合わせます。)

※この時、時針の位置によって日付けが修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。

※合わせる時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

- ④時報と同時にリュウズを押し込んでください。

24時針、分針、秒針の合わせができました。

- ⑤時針を現在時刻に合わせます。リュウズを1段目まで引き出してください。



⑥リュウズを左回転させ、現在時刻に合わせます。

☆日付けを合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

(詳しくは→10ページ「■日付けの合わせかた」を参照)

※日付けが変わるところが午前0時ですので、午前午後を間違いなく合わせてください。

※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑦合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

このタイプでの時刻合わせができました。海外旅行中などで時針を単独に修正（時差修正）したときは、24時針がホームタイムとして機能を果たすので便利です。

(→12ページ「■時差修正の使いかた」を参照)

【24時針を他の地域の時刻24時針として合わせる方法】〈タイプ2を選択した場合〉

〈例として24時針でGMTを表示し、時分針で日本時間を表示させる方法で説明します〉

①リュウズを左に回してネジロックをゆるめます。

※時計が動いていないと時刻合わせができません。充電をしてから時刻合わせをしてください。

②リュウズを2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。



〈タイプ2の例〉

- ③リュウズを右に回し、24時針と分針に注目し合わせたい「他の地域」の時刻に合わせます。午前午後に注意して合わせます。時差については事前に調べておきましょう。(→14ページ「**■都市と時差の比較表**」を参照)

〈例〉世界標準時 (GMT) に合わせる場合

日本時間午前10時0分の場合、GMTは午前1時0分なります。

24時針を午前1時に合わせる場合は、

・24時針を1時位置(12時と11時の間)に、分針を0分に合わせます。

※時針が合わせる時刻と異なる時間を示している場合がありますが、24時針と分針とで合わせてください。(時針は後から合わせます。)

※この時、時針の位置によって日付けが修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。

※合わせる時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

- ④時報と同時にリュウズを押し込んでください。

24時針、分針、秒針の合わせができました。

- ⑤時針を現在時刻(日本時間)に合わせます。リュウズを1段目まで引き出してください。

- ⑥リュウズを左回転させ、現在時刻に合わせます。

☆日付けを合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

(詳しくは→10ページ「**■日付けの合わせかた**」を参照)

※日付けが変わるところが午前0時ですので、午前午後を間違いなく合わせてください。

※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

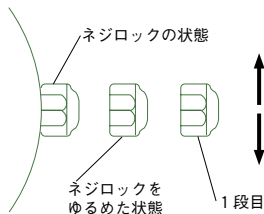
- ⑦合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

このタイプでの時刻合わせができました。時分針で現在時刻を見ながら、24時針で特定の地域の時刻をいつでも確認でき、便利です。24時針に表示させる時刻を変更する場合は、このタイプの操作①からあらためて行ってください。世界各地の時差については14ページ「**■都市と時差の比較表**」を参照ください。

## ■日付けの合わせかた

- ・この時計の日付けの修正は、時差修正の方法で時針を2周させて1日分の日付け修正を行います。(12ページ「**■時差修正の使い方**」を参照ください。)
- ・時針を時計回りに2周させると「日を送る」こととなり、逆回転させると「日に戻す」ことができます。
- ・時刻合わせの後の日付け合わせや、前月が小の月(1ヶ月の日数が30日の月と2月)である場合の月初の日付けの修正のとき行ってください。

- ①リュウズを左に回してネジロックをゆるめます。
- ②リュウズを1段目まで引き出してください。
- ③リュウズを回転させ時計を2周させる毎に、日付けが「1日分」修正できます。



右回転：時計は時計回りと逆方向に回転し、  
時計を2周させると日付けが1日戻ります。

左回転：時計は時計回りに回転し、  
時計を2周させると日付けが1日進みます。

※日付けはどちらの方法で修正してもかまいません。日付け修正が少ない方向を選択してください。

※リュウズの回転は静かに行ってください。

※2周単位で時計を回転させると、時刻を変えることなく日付の修正ができます。

※時計を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

- ④日付け合わせが終わったら、時計の位置を再度確認してリュウズを押し込んでください。さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

## ■時差修正の使いかた

- ・海外旅行等で時差のある地域へ移動した場合、時計を止めることなく現地の時刻に合わせられます。
- ・この修正は、日付けに連動していますので、時差の修正を行うと現地の日付けを表示させることができます。

### 【時差の求めかた】

- ・時差修正の前に、修正する「時差」を正確に知っておくことが重要です。
- ・単に時計の表示を現地の時刻に合わせるだけでは、午前と午後および日付けが合わない場合もあるので正しい時差を求める必要があります。

### 〈計算方法〉

A地域にいる人がB地域へ移動したとすると、それぞれの地域のGMTからの時差の数値を使い計算します。(14ページ「■都市と時差の比較表」参照)

- ・A地域のGMTからの時差を〔a〕、B地域のGMTからの時差を〔b〕とした場合、修正すべき時差は、

〔b〕－〔a〕で求められます。

【例】日本からアメリカのニューヨークへ移動した場合、

A地域日本（東京）のGMTからの時差〔a〕＝（＋9）

B地域ニューヨークのGMTからの時差〔b〕＝（－5）

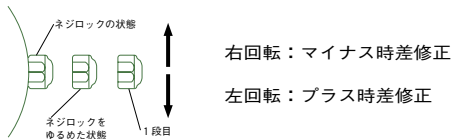
◎修正すべき時差＝〔b〕－〔a〕＝（－5）－（＋9）＝（－14）時間

※サマータイムを使う地域では、GMTからの時差の数値を「＋1」時間して計算します。

〈時差修正のしかた〉

12ページ【時差の求めかた】で計算した値などで時差修正します。

- ①リュウズを左に回してネジロックをゆるめます。
- ②リュウズを1段目まで引き出してください。
- ③リュウズを回転して時差修正をします。1時間単位の進みかたを確認しながら回してください。



※時差修正はどちらの方法で修正してもかまいません。時差修正が少ない方向を選択して下さい。

※時差修正をするときには、午前・午後および日付け等にご注意ください。

※リュウズの回転は静かに行ってください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが、故障ではありません。

※右回転で時差修正をしてAM0:00を通過してPM9:00～AM0:00付近に合わせる場合は一旦PM8:00まで戻し合わせてください。

- ④時差修正が終わったら、リュウズを押し込んで下さい。

さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

## 都市と時差の比較表

GMTは、グリニッチ標準時を示しています。+はGMTより進み、-は遅れを示しています。

GMTとの時差	都 市 名		サマータイム有	その他の都市 (●印はサマータイム有)
0	LONDON	ロンドン	●	カサブランカ, ダカル
	PARIS	パリ	●	
+1	ROME	ローマ	●	●アムステルダム, ●フランクフルト ●ベルリン
	CAIRO	カイロ	●	
+2	MOSCOW	モスクワ	●	●アテネ, ●イスタンブール, ●キエフ, ケープタウン, トリポリ
+3	DUBAI	デュバイ	●	メッカ, ナイロビ
+4	KARACHI	カラチ		
+5	DACCA	ダッカ		
+6	BANGKOK	バンコック		ブノンベン, ジャカルタ
+7	HONG KONG	香港		マニラ, 北京, シンガポール
+8	TOKYO	東京		ソウル, 平壤
+9	SYDNEY	シドニー	●	グアム島, ●ハバロフスク
+10	NOUMEA	ヌメア(ニューカレドニア)	●	ソロモン諸島
+11	WELLINGTON	ウェリントン	●	フィジー諸島, ●オークランド
-1	MIDWAY	ミッドウェイ		
-2	HONOLULU	ホノルル		
-3	ANCHORAGE	アンカレッジ	●	
-4	LOS ANGELES	ロサンゼルス	●	●サンフランシスコ, ●バンクーバー, ●ドーソン (カナダ)
-5	DENVER	デンバー	●	●エドモントン (カナダ)
-6	CHICAGO	シカゴ	●	●メキシコシティ
-7	NEW YORK	ニューヨーク	●	●ワシントンDC, ●モントリオール
-8	CARACAS	カラカス	●	●サンチャゴ (チリ)
-9	RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	●	●ブエノスアイレス

※) サマータイムの各都市における採用は、年毎に変わる可能性がありますのでご注意ください。  
この表は1998年8月時点の採用状況に基づいて作成してあります。

## ■簡易方位計（24時針を使い、方位を知る）

〈簡易方位計を使用する際の注意事項〉

- ・ 南半球でのみ使用可能ですが、緯度の低い地域（南回帰線より北）では季節により利用できない場合があります。
- ・ 太陽の位置が確認できることが必要です。
- ・ 24時針が今いる場所の現在時刻に合っていることが必要です。（→6ページ「■時刻の合わせかた」を参照）
- ・ あくまでも簡易方位計であり、正確な方位を知るためのものではありません。

### ●具体的な使用方法

①回転ベゼルの「◎」を12時方向へ合わせます。

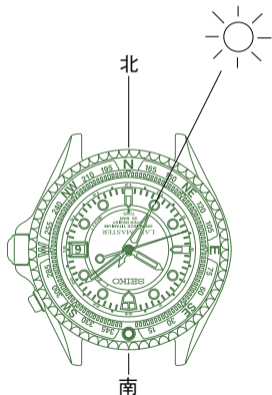
よってそれぞれの方向に下記のようなマークが合います。

3時方向：W（西）

6時方向：N（南）

9時方向：E（東）

②時計を水平に保ち、時計の24時針を太陽の方角に向けてください。その時、ベゼルの方位がそのまま方位となります。また、ベゼルには15度毎に方位（南を0度として）が印されています。





## ■ パーソナルデータ (PERSONAL DATA)

- ・時計の裏側に、パーソナルデータを刻印できるようになっています。
- ・刻印内容は、名前、国籍、生年月日、血液型の4つであり、自分のものである証しとなり、かつ緊急非常事態時における対応に役立つものとなります。

項 目	既に刻印されている文字	刻印の例(17ページ参照)
①名 前 (イニシャル)	NAME	K. M
②国 籍	NATIONALITY	JPN
③血液型 Rh+AB型の人	BLOOD TYPE Rh	+AB
④生年月日	BIRTH DAY	23-09-65

### \* 刻印例の解説

1. 名前は、イニシャルで表現しています。
2. 国籍については、英字略語3文字での表現となっております。
3. 血液型は、ABO型とRhの十と一について3文字以内で刻印します。  
例 Rh+のO型の人 は 十O  
Rh-のA型の人 は 一A
4. 生年月日は、西暦の下2ケタと月、日を使い日-月-年の順に並べます。  
この順序で刻印することによって世界中で認識され易くなります。  
例 1965年9月23日生まれの人 は「23-09-'65」となります。

※この刻印につきましては、有料となります。

時計の価格には含まれておりません。

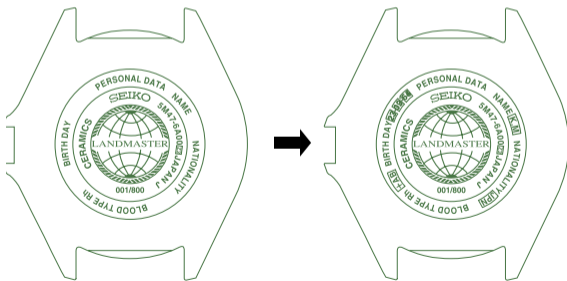
刻印についての問い合わせは、お買い上げ店にご相談ください。

刻印はケース本体に直接施しますので、後から刻印を変更することはできません。

刻印をご注文される際には、事前に内容をよくご確認の上お間違いのないようお願いいたします。

このケースの刻印は特殊な加工を要するため、若干時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

## 〔刻印例〕



## ■国名英字略語一覧

AFG :アフガニスタン	CMR :カメルーン	HUN :ハンガリー	MON :モナコ	SOL :ソロモン諸島
AHO :オランダ領アンチル	COK :クック諸島	INA :インドネシア	MOZ :モザンビーク	SOM :ソマリア
ALB :アルバニア	COL :コロンビア	INO :インド	MRI :モリシャス	SRI :スリランカ
ALG :アルジェリア	CRC :コスタリカ	IRL :アイルランド	MTN :モリタニア	SUD :スーダン
AND :アンドラ	CRO :クロアチア	IRN :イラン	MYA :ミャンマー	SUI :スイス
ANG :アンゴラ	CUB :キューバ	IRQ :イラク	NAM :ナミビア	SUR :スリナム
ANT :アンチグア・バーグダー	CYP :キプロス	ISL :アイスランド	NCA :ニカラグア	SWE :スウェーデン
ARG :アルゼンチン	DEN :デンマーク	ISR :イスラエル	NEP :ネパール	SWZ :スワジランド
ARU :アルバ	DJI :ジブチ	ISV :米領バージン諸島	NGR :ナイジェリア	SYR :シリア
ASA :米領サモア	DOM :ドミニカ	ITA :イタリア	NGU :バブアニューギニア	TAN :タンザニア
AUS :オーストラリア	ECU :エクアドル	IVB :英領バージン諸島	NIG :ニジェール	TCH :チェコスロバキア
AUT :オーストリア	EGY :エジプト	JAM :ジャマイカ	NOR :ノルウェー	TGA :トンガ
BAH :バハマ	ESA :エルサルバドル	JOR :ヨルダン	NZL :ニュージーランド	THA :タイ
BAN :バングラディシュ	ESP :スペイン	JPN :日本	OMA :オーマン	TOG :トーゴ
BAR :バルバドス	EST :エストニア	KEN :ケニア	PAK :パキスタン	TPE :台湾
BEL :ベルギー	ETH :エチオピア	KOR :韓国	PAN :パナマ	TRI :トリニダードトバゴ
BEN :ベニン	EUN :CIS	KUW :クウェート	PAR :パラグアイ	TUN :チュニジア
BER :バーミューダ	FIJ :フィジー	LAO :ラオス	PER :ペルー	TUR :トルコ
BHU :ブータン	FIN :フィンランド	LAT :ラトビア	PHI :フィリピン	UAE :アラブ首長国連邦
BIZ :ベリーズ	FRA :フランス	LBA :リビア	POL :ポーランド	UGA :ウガンダ
BOL :ボリビア	GAB :ガボン	LBR :リベリア	POR :ポルトガル	URU :ウルグアイ
BOT :ボツワナ	GAM :ガンビア	LES :レソト	PRK :北朝鮮	USA :アメリカ
BRA :ブラジル	GBR :イギリス	LIB :レバノン	PUR :プエルトリコ	VAN :ヴァヌアツ
BRN :バーレーン	GEQ :赤道ギニア	LIE :リヒテンシュタイン	QAT :カタール	VEN :ベネズエラ
BRU :ブルネイ	GER :ドイツ	LIT :リトアニア	ROM :ルーマニア	VIE :ベトナム
BUL :ブルガリア	GHA :ガーナ	LUX :ルクセンブルク	RSA :南アフリカ共和国	VIN :セントビンセント・グレナディーン
BUR :ブルキナファン	GRN :グレナダ	MAD :マダガスカル	RWA :ルワンダ	YAM :北イエメン
CAF :中央アフリカ	GUA :グアテマラ	MAL :マレーシア	SAM :西サモワ	YUG :ユーゴスラビア
CAN :カナダ	GUI :ギニア	MAR :モロッコ	SAU :サウジアラビア	ZAI :ザイール
CAY :ケイマン諸島	GUM :グアム	MAW :マラウイ	SEN :セネガル	ZAM :ザンビア
CGO :コンゴ	GUY :ガイアナ	MDV :モルジブ	SEY :セイシェル	ZIM :ジンバブエ
CHA :チャド	HAI :ハイチ	MEX :メキシコ	SIN :シンガポール	
CHI :チリ	HKG :香港	MGL :モンゴル	SLE :シエラレオネ	
CHN :中国	HOL :オランダ	MLI :マリ	SLO :スロベニア	
CIV :コードボジアル	HON :ホンジュラス	MLT :マルタ	SMR :サンマリノ	

## ■使用電源 (キネティックE.S.U.) についてのご注意

- この時計は一般の電池の代わりに専用のキネティックE.S.U.を電源として使用していますので、電池交換は不要です。
- 時計を保管する際、リュウズを2段引いて運針を止めても、IC制御の電流が消費されるため、持続時間の維持はできませんのでご注意ください。



注意

破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、一般の銀電池は絶対に組み込まないようご注意ください。

## ■使用上のご注意とお手入れの方法

### ケースにセラミックを使用したモデルについて

ケース（またはケースの一部）にセラミックを使用したモデルがあります。セラミックは軽くて硬く、傷がつきにくい性質の材質です。実用携帯には十分耐えられるようになっておりますが、激しくぶついたり、落としたりすると割れる可能性がありますのでご注意ください。

## 防水性能

この時計は20気圧の圧力（水深200mの水圧に相当する）に耐える構造になっています。空気ボンベを使用しない潜水（スキンドайビング）までの使用が可能です。



### 警告

この時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。



### 注意

- ・水分のついたままリュウズをまわしたり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入る場合があります。
- ・海水に浸した時や多量の汗をかいた後は真水で洗い、よく拭き取ってください。



### 注意

#### 日常のお手入れ

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にご使用ください。
- ・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れやケース、バンド、及びパッキンの寿命が違ってきます。
- ・バンドはときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。
- ・海水中などでの使用のあとは、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
- ・回転ベゼルの下に汚れなどがたまり、回転が重くなる場合がありますので清潔にご使用ください。

 注意

かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられますのは、
  1. 金属・皮革に対するアレルギー
  2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、直ちに使用を中止し医師にご相談ください。

保管について

- ・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では機能が低下したり停止したりする場合があります。
- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。  
(薬品の例：ベンジン、シンナー、などの有機溶剤およびそれらを含むものーガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤などー水銀、ヨウ素系消毒液など)
- ・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

### その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ・バンド着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

#### 注意

- ・ケースにセラミックを使用しています。セラミックは軽くて硬く、傷がつきにくい性質の材質です。実用携帯には十分耐えられるようになっておりますが、激しくぶつけたり、落としたりすると割れる可能性がありますのでご注意ください。

### 定期点検について

ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。点検の受付はお買い上げ店でいたしますが、点検作業はすべてセイコーサービスセンターで行います。点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。部品交換の時は「セイコー純正部品」とご指定ください。

## ■ルミブライトについて

[お買い上げの時計がルミブライトつきの場合]

ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。

ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約5～8時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉（目安値）

①太陽光

〔晴天〕 100,000ルクス

〔曇天〕 10,000ルクス

②屋内（昼間窓際）

〔晴天〕 3,000ルクス以上

〔曇天〕 1,000～3,000ルクス

〔雨天〕 1,000ルクス以下

③照明（白色蛍光灯40Wの下で）

〔1 m〕 1,000ルクス

〔3 m〕 500ルクス（通常室内レベル）

〔4 m〕 250ルクス



## ■こんな時には

現 象	考えられる原因
時計が止まった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電した電気エネルギーがなくなった。</li> </ul>
時計が一時的に進む／遅れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑いところ、または寒いところに放置した。</li> <li>・磁気を発生するもののそばにおいた。</li> <li>・落としたり強くぶついたりまたは激しいスポーツをした。</li> <li>・強い振動が加えられた。</li> </ul>
ガラスのくもりが消えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。</li> </ul>
秒針が2秒運針をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電した電気エネルギーが残り少なくなった。</li> </ul>
毎日携帯しているのに、インジケータの表示が10秒以上にならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の携帯時間がやや短いか腕をほとんど動かさない行動である。</li> </ul>
日付が日中に変わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻合わせが12時間ずれている。</li> </ul>
回転ベゼルがスムーズに回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂やゴミが回転ベゼルのすき間に入ってしまった。</li> </ul>

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください

このようにしてください

- ・「3ページ 充電のしかた」を参照し充電してください。
- ・精度は、常温にもどれば元に戻ります。
- ・磁気を遠ざけると、元の精度で動きます。この場合には、時刻を修正してください。（「6ページ 時刻のあわせかた」参照）
- ・元にもどらない場合は、お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。
- ・この場合には、時刻を修正してください。
- ・元にもどらない場合には、お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。
- ・お買い上げ店にご相談ください。
- ・3時間以内に止まる可能性がありますので「3ページ 充電のしかた」を参照し充電してください。
- ・なるべく長く携帯してください。1日10時間を目安に約3日以上のご携帯をお願いします。インジケータ表示で20～30秒分の充電量が確保できると思われます。
- ・12時間針を進めて時刻を合わせてください。
- ・水洗いしても良くならない場合は、お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。

## ■製品仕様

1. 水晶振動数・・・32,768Hz (Hz＝1秒間の振動数)
2. 携帯精度・・・・・・平均月差±15秒以内〔気温5℃～35℃において腕につけた場合〕
3. 作動温度範囲・・・・-10℃～+60℃
4. 駆動方式・・・・・・ステップモーター式
5. 使用電源・・・・・・キネティックE.S.U. (※参照) 1個
6. 駆動持続時間・・・・フル充電(インジケータ-30秒表示)から止まりまで：約7日間以上  
2秒運針になってから止まりまで：約6時間
7. 充電量表示機能つき (インジケータ-)
8. 電子回路・・・・・・発振・分周・駆動・充電制御回路 (C-MOS-IC)・・・・1個
9. 発電システム・・・・小型交流発電機
10. 耐磁性能・・・・・・JIS1種耐磁時計 (4800 A/m (60 Gauss))
11. 防水性能・・・・・・日常生活用強化防水 (20気圧)  
(JIS 2種防水時計20気圧)

※上記の製品は改良のため予告なく、変更することがあります。

※キネティックE.U.S.とは、KINETIC ELECTRICITY STORAGE UNIT (キネティック エレクトリシティ ストレージユニット) の略。

電池交換不用のキネティックムーブメントに使用されている電源の名称です。

## ■アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は巻末の「セイコー株式会社お客様相談室」または「セイコーサービスセンターお客様相談係」へお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

## ■補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。  
(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です)
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。